

国際音楽祭NIPPON 2020

芸術監督：諏訪内晶子



INTERNATIONAL
MUSIC FESTIVAL
NIPPON

諏訪内晶子 室内楽プロジェクト

Akiko Plays CLASSIC & MODERN with Friends

[3/11]

[3/13]

鮮やかなコントラストで魅せる
音楽の諸相



佐々木 亮
(ヴィオラ)

© Taisuke Yoshida



スヴェトリン・ルセフ
(ヴァイオリン)

© Vahan Mardirossian



諏訪内晶子
(ヴァイオリン)

© TAKAKI KUMADA



アンリ・ドウマルケット
(チェロ)



マルクス・グロー
(ピアノ)

© Z Michael Schmidt

当初出演を予定しておりました、ホーヴァル・ギムゼは出演者本人の都合により来日ができなくなりましたため、マルクス・グローが出演いたします。何卒ご理解を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

<Akiko Plays CLASSIC with Friends>

2020年3月11日(水) 19:00開演 18:30開場
7:00 p.m., Wednesday, March 11 at Kioi Hall

※ 出演者によるトークを予定しております。

J.S. バッハ：「シャコンヌ」

～無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 二短調 BWV1004 より
J.S. Bach: "Chaconne" from Violin Partita No. 2 in D minor, BWV1004

ブラームス：ピアノ三重奏曲第3番 Op.101

Brahms: Piano Trio No. 3 Op. 101

ドヴォルザーク：ピアノ五重奏曲第2番 Op.81

Dvorak: Piano Quintet No. 2 Op.81

<Akiko Plays MODERN with Friends>

3月13日(金) 19:00開演 18:30開場
7:00 p.m., Friday, March 13 at Kioi Hall

プレ・トーク開催 18:45～ ナビゲーター：沼野雄司（音楽学）

※ 出演者によるトークも予定しております。

スティーヴ・ライヒ：ヴァイオリン・フェイズ<1967>

Steve Reich: Violin Phase <1967>

川上 統：組曲「甲殻」より<2005> *新作「オトヒメエビ」を初演奏

Osamu Kawakami: Excerpts from Suite "Carapace" <2005>

マーク＝アンドレ・ダルバヴィ：ピアノ三重奏<2008>

Marc-Andre Dalbavie: Piano Trio <2008>

レオ・オーンスタイン：ピアノ五重奏曲第2番<1927>

Leo Ornstein: Piano Quintet No. 2 <1927>



有馬純寿
(エレクトロニクス)

紀尾井ホール

四ッ谷駅・麴町口徒歩6分／麴町駅・徒歩8分／赤坂見附駅・D出口徒歩8分／永田町駅7番出口・徒歩8分

[2公演セット券] S¥12,000 A¥8,500 各日(単券) S¥8,000 A¥5,500

※料金には消費税が含まれています。 ※特別割引料金については裏面をご覧ください。

ジャパン・アーツ夢倶楽部会員料金
[2公演セット券] S¥11,000 A¥7,700 各日(単券) S¥7,200 A¥5,000

好評発売中。良い席はお早めに！

お申込み

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp/
チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 (Pコード:561-826) イープラス eplus.jp

紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061 www.kioi-hall.or.jp/
ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード:34394)

主催：ジャパン・アーツ／日本経済新聞社

後援：ブルガリア共和国大使館

協力：ユニバーサル ミュージック

特別協賛：



豊田自動織機

TOYOTA



豊田通商

AISIN

成熟と遭遇の奇蹟へ

演奏家として輝かしいキャリアを持つ諏訪内晶子だが、彼女はいま、さらに新しい第一歩を歩みだそうとしている。プログラムをよく眺めてみてほしい。

第一夜は「アキコ・プレイズ・クラシック・ウィズ・フレンズ」。一見すると普通？いや、これまでの諏訪内のディスコグラフィに純然たる室内楽は存在しない。もちろん様々な経験を積んできたとはいえ、基本的には独奏者である彼女が、ルセフや佐々木亮をはじめとする手練れたちをどのようにリードするのか／できるのか。しかもその舞台として選ばれたのはブラームスのピアノ三重奏第3番とドヴォルザークのピアノ五重奏第2番という難曲。

ブラームス作品、第1楽章で変ホ長調に転じた部分の跳ねるようなユニゾン・リズムをどのように処理するのか、あるいはドヴォルザーク作品の第2楽章「ドゥムカ」冒頭で、ヴィオラの密やかな旋律に対して

どんなテヌートで合いの手を入れるのか。あらゆる箇所が、この演奏家の真の成熟をはかる試金石となるだろう。

さらに衝撃的なのが第2夜「アキコ・プレイズ・モダン・ウィズ・フレンズ」。諏訪内はこれまでも積極的に20世紀作品を取り上げてはきたが、しかし、それらは総じて後期ロマン派の流れをくむ壮麗な音楽だった。しかしこの夜、彼女は時にみずばらしく、時にささくれだった〈モダン〉と初めて遭遇する。自らの多重録音によるライヒの「ヴァイオリン・フェイズ」を皮切りにして、問題児レオ・オーンスタインの奇想がちりばめられた五重奏へと続くプログラム構成は、この演奏家の真のキャパシティをはかる試金石となるだろう。

また、この夜には現在もっとも注目される日本の作曲家、川上統による奇作「甲殻」が、諏訪内のために用意された世界初演曲を含む新構成で演奏される。リアルタイムの日本との遭遇までもが用意されているというわけだ。この奇蹟を我々はなんとしても目撃しなければならない。

沼野雄司（音楽学）



© Kiyotaka Saito

諏訪内晶子（ヴァイオリン／国際音楽祭NIPPON2020芸術監督）
Akiko Suwanai,
Violin / Artistic Director of International Music Festival NIPPON 2020

1990年史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、デュトワ、サヴァリッシュらの指揮で、ボストン響、フィラデルフィア管、パリ管、ベルリン・フィルなど国内外の主要オーケストラと共演。BBCプロムス、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン、ルツェルンなどの国際音楽祭にも多数出演。2018年はハンブルクでのアルゲリッチ主宰の室内楽音楽祭やアンスネス主宰ローゼンダル音楽祭、ブラティスラヴァ音楽祭への参加や、フランス国立ロワール管、ドレスデン国立歌劇場管他と共演し、2019年2月～3月にはベルリン放送交響楽団とベルリン及び日本において共演を予定。また、2012年、2015年、エリザベト王妃国際コンクールヴァイオリン部門、および2018年ロンドンティボー国際コンクールヴァイオリン部門審査員。2012年より「国際音楽祭 NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。デッカより14枚のCDをリリース。

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院本科及びコロンビア大学に学んだ後、同音楽院修士課程修了。国立ベルリン芸術大学でも学んだ。

使用楽器は、日本音楽財団より貸与された1714年製作のストラディヴァリウス「ドルフィン」。



© Vahan Mardirossian

スヴェトリン・ルセフ
（ヴァイオリン）
Svetlin Roussev, violin

ブルガリア生まれ。第1回仙台国際音楽コンクール優勝、第5回インディアナ

ポリス国際ヴァイオリンコンクール及び1999年ロンドンティボー国際コンクールで入賞。スイス・ロマンダ管弦楽団のコンサートマスターのほか、ソフィア・フィルハーモニー管弦楽団の芸術監督兼アーティスト・イン・レジデンスを務める。ジュネーブ高等音楽院教授。揺るぎないテクニックと豊かな表現力が絶賛される実力派ヴァイオリニスト。チョン・ミョンフン、ユーディ・メニューインなどの指揮の下ソリストとして活動するほか、室内楽の分野でもジャン＝マルク・ルイサダ、エリック・ル・サージュなどと共演し、世界各地で高い評価を得ている。



© Taisuke Yoshida

佐々木 亮（ヴィオラ）
Ryo Sasaki, Viola

東京藝術大学およびジュリアード音楽院卒業。1991年日本現代音楽協会室内楽コンクール第1位、「朝日現代音楽賞」受賞。1992年東京国際音楽コンクール室内楽

部門第2位。アスペン音楽祭、マールボロ音楽祭に参加し、卒業後は、ソロ、室内楽、オーケストラ奏者として全米各地で演奏活動を行う。2004年5月1日N響入団、2008年1月より首席奏者。師に、掛谷洋三、澤和樹、田中千香士、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、室内楽を兎束俊之、フェリックス・ガリミール、ジェーコブ・ラタイナー各氏。桐朋学園大学、洗足学園音楽大学にて後進の指導にもあたっている。



アンリ・ドゥマルケット
（チェロ）
Henri Demarquette,
cello

1970年生まれ、パリ出身。13歳でパリ国立高等音楽院に入学し、ジャンドロン、フルニエ、トルトゥリエに師事。アメリカではシュタルケルに学ぶ。

17歳の時にシャトレ座でリサイタル・デビュー。ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールなど数々の入賞歴を持ち、現代音楽にも造詣が深い。ニュアンス豊かな表現力が魅力。エンゲラーとの仏音楽アルバムなどCD録音も多数。

使用楽器はLVMH財団より貸与された1725年制作のストラディヴァリウス“le Vaslin”、使用弓は1820年製の“Persois”。



© Dan Williams / Kalare Studio

マルクス・グロー
（ピアノ）
Markus Groh, piano

1995年のエリザベト王妃国際音楽コンクール優勝を皮切りに、クリーブランド管、ニューヨーク・フィル、サンフランシスコ響、ワシントン・ナショナル響、ロンドン響、バンベルク響、スイス・ロマンダ

管、サンクトペテルブルク・フィルなどの名立たる名門オーケストラと、I. フィッシャー、N. ヤルヴィ、F. ルイージ、K. ナガノ、J. ノット、D. ロバートソン等の指揮のもと共演を続けている。

レコーディングの評価も高く、リスト「口短調ソナタ」を収録したアルバムは、ザ・タイムズ紙で最高の評価を受け、グラモフォン誌のほか主要な音楽雑誌でも絶賛された。1970年南ドイツ生まれ。シュトゥットガルト、ベルリン、ザルツブルクで学ぶ。ベルリン在住。

【国際音楽祭NIPPON 2020 その他の公演スケジュール】

- 2/14(金)19:00 東京オペラシティコンサートホール ♪（問）ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212
2/15(土)14:00 三井住友海上しらかわホール ♪（問）クラシック名古屋 052-678-5310
3/7(土) 13:00 徳川美術館 講堂 ☆（問）クラシック名古屋 052-678-5310
3/7(土) 19:00 トヨタ産業技術記念館 ★（問）クラシック名古屋 052-678-5310
3/8(日) 13:00 東京オペラシティコンサートホール ◆（問）ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212
3/10(火)19:00 サントリーホール ◇（問）ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212
3/12(木)18:30 釜石市民ホール TETTO ▲（問）釜石市民ホール TETTO 0193-22-2266

- ♪：諏訪内晶子 & ニコラ・アンゲリッシュ デュオ・リサイタル
☆：ミュージアム・コンサートⅠ ★：ミュージアム・コンサートⅡ
◆：ベートーヴェン 室内楽マラソンコンサート
◇：ジャンンドレア・ノセダ指揮 ワシントン・ナショナル交響楽団
▲：東日本大震災復興応援コンサート in 釜石～諏訪内晶子 & フレンズ～

＜特別割引チケット＞

＜WEBジャパン・アーツぴあ及び
ジャパン・アーツぴあコールセンターのみで受付＞

- ◎学生席（各ランクの半額）残券がある場合2019年12月13日(金)より受付を開始します。社会人を除く公演当日25歳までの学生が対象です。当日は学生証をご提示の上、ご入場ください。（学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴いたします。）学生席はジャパン・アーツ夢倶楽部会員の方も一般価格の半額です。
◎シニア割引 65歳以上の方はS席とA席を会員料金でお求めいただけます。
◎車椅子の方は本人と付き添いの方1名までが割引になります。必ず事前にご予約ください。（ジャパン・アーツぴあコールセンターのみで受付）

＜次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ＞

- ①やむを得ない事情により、出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑦ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただきます。

Twitterでフォローする
@japan_arts